



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 TEL 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	55,739	68.2	1,638	—	1,953	—	1,384	—
2021年3月期第1四半期	33,140	△45.8	△2,166	—	△2,212	—	△1,661	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,948百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △219百万円 (77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	32.25	—
2021年3月期第1四半期	△38.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	239,116	146,187	56.5
2021年3月期	237,955	145,052	56.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 135,070百万円 2021年3月期 133,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,700	14.0	12,400	54.0	12,100	39.8	8,600	31.7	200.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	43,931,260株	2021年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,000,201株	2021年3月期	1,000,201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	42,931,059株	2021年3月期1Q	42,931,140株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>）を併せてご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済情勢は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及状況や景気支援策によって、各地域に差があるものの、全体として欧米等の先進国を中心に景気回復が進みました。一方で、アジア地域の一部の国では感染が再拡大しており、依然として懸念の残る状況が続いています。

自動車業界は、世界的な半導体不足による減産の影響はありますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により生産活動停止や販売縮小となった前年同期との比較では、各国の自動車販売台数が大幅増加となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、コロナ禍からの生産回復で量産・非量産売上が増加したものの、半導体不足に伴う得意先の生産調整の影響で伸び悩み、売上高は55,739百万円（前年同期比68.2%増）にとどまりました。利益につきましては、増収効果に加え、コロナ禍での原価低減や販管費削減の効果が継続しており、営業利益は1,638百万円（前年同期は2,166百万円の損失）となりました。経常利益は1,953百万円（前年同期は2,212百万円の損失）、親会社株主に属する四半期純利益は、1,384百万円（前年同期は1,661百万円の損失）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	11,669	10,425	△1,244	△10.7%
営業損失（△）	△680	△393	287	-

前期との主な増減理由

売上高 半導体不足の影響で減産となり、型設備売上が減少したことなどにより、減収となりました。

営業損失 非量産売上の減少の影響が大きく、営業損失となりましたが、前年同期と比べ損失は縮小しました。

②北米

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	7,704	18,267	10,563	137.1%
営業損失（△）	△1,453	△172	1,280	-

前期との主な増減理由

売上高 半導体不足の影響はありましたが、生産回復と新型CIVICの型設備売上の計上等により、増収となりました。

営業損失 営業損失となりましたが、増収効果に加え、体質改善による製造費用の削減等により、前年同期と比べ損失は大幅に縮小しました。

③欧州

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	2,194	5,200	3,005	137.0%
営業利益	104	488	384	369.5%

前期との主な増減理由

売上高 生産回復に加え、得意先の半導体不足の影響が少なく、スロバキア拠点におけるBMW様の新型iX立ち上がり等もあり、増収となりました。

営業利益 増収効果等により、増益となりました。

④アジア

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	2,629	6,352	3,722	141.6%
営業利益又は損失(△)	△1,146	167	1,313	-

前期との主な増減理由

売上高 生産回復と新型CIVIC立ち上がり等で量産売上が増加し、増収となりました。

営業利益 増収効果に加え、他社販が好調だったことなどにより、増益となりました。

⑤中国

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	12,773	14,667	1,893	14.8%
営業利益	1,235	1,250	14	1.2%

前期との主な増減理由

売上高 半導体不足の影響で減産となりましたが、材料単価改定や他社販の増加もあり、増収となりました。

営業利益 労務費が上昇した一方で、為替の影響もあり、前期並みとなりました。

⑥南米

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	96	2,064	1,967	2,042.7%
営業利益又は損失(△)	△64	207	271	-

前期との主な増減理由

売上高 前期のコロナ禍での生産停止が解消されたことに加え、得意先の半導体不足の影響が軽微だったことなどにより、大幅増収となりました。

営業利益 増収効果に加え、コロナ禍での固定費削減効果等により、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より1,160百万円増加し、239,116百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より25百万円増加し、92,928百万円となりました。これは主に、短期借入金及び買掛金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より1,134百万円増加し、146,187百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年5月13日発表の予想値から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,162	30,901
受取手形及び売掛金	29,534	35,256
製品	1,341	1,464
仕掛品	20,790	26,195
原材料	2,319	2,686
貯蔵品	1,115	1,157
その他	6,300	7,165
流動資産合計	90,565	104,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,299	54,035
機械装置及び運搬具（純額）	36,935	37,070
工具、器具及び備品（純額）	18,528	10,686
土地	12,902	12,903
建設仮勘定	12,797	7,281
有形固定資産合計	135,463	121,977
無形固定資産	1,699	1,659
投資その他の資産		
投資有価証券	7,832	8,165
その他	2,395	2,486
投資その他の資産合計	10,227	10,651
固定資産合計	147,390	134,288
資産合計	237,955	239,116
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,581	21,906
短期借入金	15,583	17,433
1年内返済予定の長期借入金	8,549	10,491
未払金	6,323	7,201
未払法人税等	1,278	767
賞与引当金	1,342	1,214
その他	8,602	7,019
流動負債合計	62,261	66,033
固定負債		
長期借入金	22,246	19,271
退職給付に係る負債	1,304	1,270
役員株式給付引当金	397	423
その他	6,694	5,929
固定負債合計	30,641	26,895
負債合計	92,903	92,928

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,635	23,635
利益剰余金	96,839	97,398
自己株式	△1,772	△1,772
株主資本合計	123,358	123,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,115	1,288
為替換算調整勘定	9,032	9,545
退職給付に係る調整累計額	337	318
その他の包括利益累計額合計	10,485	11,152
非支配株主持分	11,207	11,116
純資産合計	145,052	146,187
負債純資産合計	237,955	239,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	33,140	55,739
売上原価	32,690	50,820
売上総利益	449	4,919
販売費及び一般管理費	2,616	3,280
営業利益又は営業損失(△)	△2,166	1,638
営業外収益		
受取利息	85	70
受取配当金	36	53
為替差益	22	57
持分法による投資利益	—	120
助成金収入	59	25
その他	64	86
営業外収益合計	267	413
営業外費用		
支払利息	181	87
持分法による投資損失	96	—
その他	36	11
営業外費用合計	313	98
経常利益又は経常損失(△)	△2,212	1,953
特別利益		
固定資産売却益	30	0
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	30	3
特別損失		
新型コロナウイルス感染症関連損失	418	—
特別損失合計	418	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△2,600	1,957
法人税等	△459	647
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,140	1,310
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△478	△74
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,661	1,384

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,140	1,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	172
繰延ヘッジ損益	△15	—
為替換算調整勘定	1,696	487
退職給付に係る調整額	15	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	△3
その他の包括利益合計	1,921	637
四半期包括利益	△219	1,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43	2,051
非支配株主に係る四半期包括利益	△176	△103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

当会計基準等の適用による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりであります。なお、営業利益に与える影響は軽微です。

生産に要する金型の費用を一定の期間にわたって顧客から回収し、売上高と売上原価を計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、一時点で売上高と売上原価を計上しております。この結果、売上高に与える影響は307百万円増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、利益剰余金の当期首残高は258百万円増加しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益、財政状態1株あたり情報への影響はございません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	8,889	7,599	2,141	2,259	12,183	68	33,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,780	104	52	370	590	28	3,926
計	11,669	7,704	2,194	2,629	12,773	96	37,067
セグメント利益又は損失(△)	△680	△1,453	104	△1,146	1,235	△64	△2,006

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,006
セグメント間取引消去等	△160
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,166

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	9,759	18,149	5,135	6,349	14,281	2,063	55,739
セグメント間の内部売上高又は振替高	665	118	64	2	385	0	1,236
計	10,425	18,267	5,200	6,352	14,667	2,064	56,976
セグメント利益又は損失(△)	△393	△172	488	167	1,250	207	1,547

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,547
セグメント間取引消去等	91
四半期連結損益計算書の営業利益	1,638